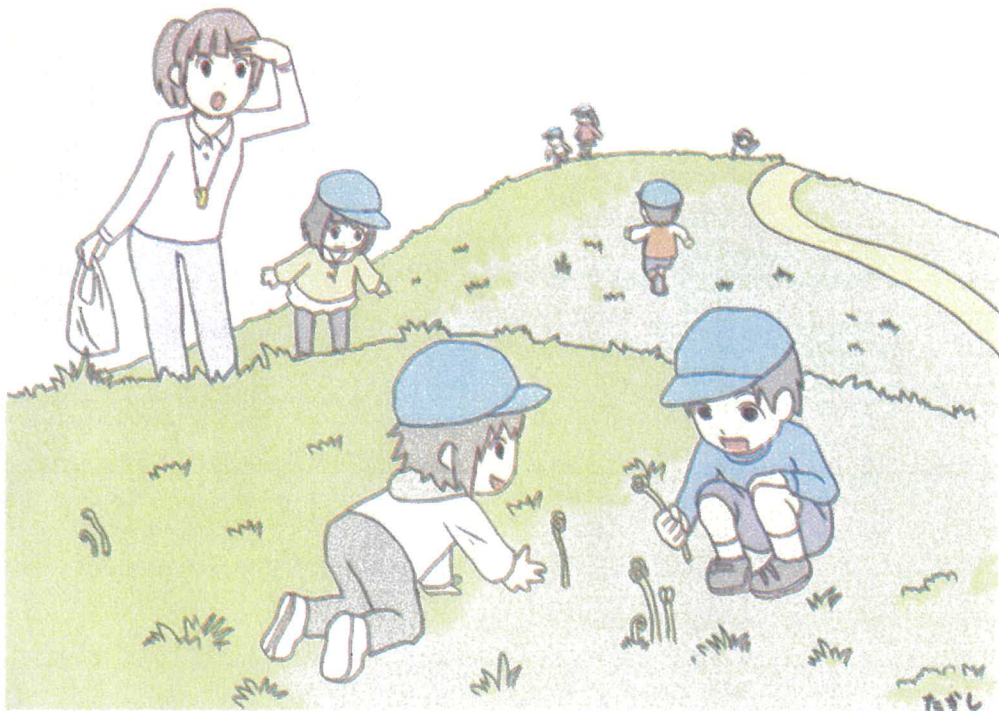


# わらびとりに いったきたよ



このあいだ、ばらぐみ、はとぐみ、そしてゆりぐみのお友だちは、稲取の細野高原へワラビとりにいってきました。気持ちのいい高原で「グーのワラビがおいしいんだよ、パーのワラビはおいしくありません」とはじめたワラビとり、「なかなかみつからない」「どれ?」と言っていた子どもたちもだんだんにわかりはじめ、さいごには「先生、こんなにいっぱい」と、小さな手にたくさんとったすがたを見せてくれるようになりました。

帰りの時間、うれしい事がありました。「今日はたのしかった」「ワラビもとれたし!」「グーのがいいんだよね!」と、いろいろなはなしでもりあがった事です。

ゆりぐみさんのワラビとりは、私が前日いそがしく、とれる場所の下見をしてなかったので、おおあわて。いそいで細野高原へ行き、道々車から降りしらべる、また走ってはしらべる、気温が高かった事、雨がふった事もあったのか、みんなひらいていてもうダメかなと思いましたが、やっと上の山の北側側面にたくさん出ている所を見つけ、ホッ。みんなでげんきにやまのぼり、子ども達ひとりひとりの「グー」を見つけにいきました。あるお友だちが「先生みて、こんなにとれた」と、手をつきあげました。かかげられた手にはぎられたワラビは全部「パー」 そのお友だちの話では「でもグーがついているよ。」 あおぞらのもと、いろいろわらいながらすごしたひとときでした。帰りがけ「先生みてみて、こんなにとれた」「ぼくも」「わたしも」という子ども達のことばに「今日も成功、バンザーイ」(保先生のきもち)

みんなでよかったねと、帰ってきました。てんぷらやおひたし、みそしるもいねと、みんなで食べるのを楽しみにしています。

じぶんでとってきたワラビは、「ごくじょうのあじ」がするでしょうからね。

